

瀬のぶひろニュース

学童保育待機児対策・芸術鑑賞機会拡充など強調

～平成28年第4回市議会定例会が閉会～

立川市議会平成28年第4回定例会は11月30日～12月19日の会期で開催されました。瀬のぶひろ議員は12月2日の本会議で一般質問に立ち、学童保育所や文化芸術振興などについて質問を行いました。(詳細は中面をご覧ください)

定例会では条例改正、指定管理者の指定、市道の廃止・認定、補正予算、多文化共生都市宣言が議案として上程され、慎重に審議し可決されました。また、教育委員会委員及び固定資産評価審査委員会委員の人事議案2件も同意されました。

小中学校プール温水シャワー設置が更に拡大

瀬議員がこれまでの議会で必要性を

訴え早期設置を求めてきた学校プール温水シャワーについて、今回可決した一般会計補正予算で新たに工事費用が計上され、今夏のプール授業が始まるまでに設置される予定となりました。 詳しくはブログをご覧ください→

【今回設置が決定した学校：第2小、第3小、西砂小、若葉小、第2中、第3中、第8中】



新年を迎えて

立川市議会議員 瀬 順弘

2017年の新年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。



市議会議員となって3回目の新年を迎え、昨年を振り返りますと、立川駅周辺Wi-Fi整備、学校プール温水シャワー設置、ファーレ立川アート案内アプリの提供開始をはじめ、多くの取り組みを前進させることができました。これらも全て、日頃より温かいご支援、ご協力を賜っております、多くの皆様のお陰であり、改めて心より感謝申し上げます。

立川市は新清掃工場の建設、公共施設の再編計画、少子高齢化へ対応した社会づくりなど、大きな課題に挑戦していくかなければなりません。今年一年もしっかりと働いてまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻賜りますよう心からお願い申しあげます。



平成29年度会派予算要望を提出

次度予算編成にあたり、市議会公明党として市長へ要望書を提出しました。予算要望は、「子育て・教育」「福祉」「文化・スポーツ」など8つのジャンルで計78項目にわたります。各項目の実現に向けて、一層取り組みを進めてまいります。



- 学校ICT環境のさらなる充実
- 産前産後のワンストップ相談窓口を開設
- がん検診時に新たに内視鏡検査を追加
- 口腔がんについての周知・予防啓発
- 受動喫煙防止のための分煙対策
- 点字ブロック上に駐輪した自転車対策
- 被災者支援システムを早期に導入
- 住民票等証明書のコンビニ発行を推進
- 図書館空白地域へ受渡しカウンターの設置

主な要望項目（抜粋）

瀬のぶひろの議会発言

平成28年第4回定例会における瀬のぶひろ議員の一般質問の概要は以下の通りです。

行政評価について

立川市は、行政運営に対する評価の取り組みの1つとして、前年度の事務事業についてマネジメントシートを作成して事後評価しています。これを今後の行政運営に更に生かし、市民サービスの向上に繋げるため、現状の課題を指摘し今後の検討を求めました。

- 主張**
- シート記載の人物費の精度を上げるべき
 - 行政評価を職員定数管理にも活用すべき
 - 作成されたシートを他の部署の職員が点検することで、客観的な評価や新たな提案などを生む仕組みを作るべき
 - 今後の行財政問題審議会答申や、議員の提案内容も含め、(行政評価)システム全体の方をさらに検討していきたい
- 答弁**



学童保育所について

平成28年4月1日現在、学童保育所の待機児童は市内で200人となりました。第1小学校区(柴崎町)が市内で最も多い地域で、今後数年間は児童数が更に増えると想定されています。この待機児童対策についてと、要望が寄せられている開所時間について取り上げました。



- 主張**
- 当面の対応として夏休みだけのサマー学童保育所を開設すべき
 - 開設に向けて関係部署が連携して取組むべき
- 答弁**
- 市長の大きな公約であり、限りがある予算であるができるだけ配慮したい
- 主張**
- 夏休みなど長期休業中の朝の開所時間を現在の8時より早くすべき
- 答弁**
- 市にも声は同様の声が届いているが、人員配置など運営上の課題があり早急には難しい

文化芸術の振興について

立川市では、彫刻や絵画などの美術品を88点所有しています(ファーレ立川アート作品を除く)。この中の絵画について、展示されていない絵画の保管状況の確認や、市民の共有財産であるこれら美術品をより多くの市民の方にご覧いただく機会を設けるよう提案を行いました。

- 主張**
- 保管されている絵画については適切な状態で保管すべき
 - 絵画展示作品のローテーションをすべき
 - 市所有絵画を多くの市民の方々に見ていただく機会を設けるべき
 - それぞれの作品がいつどこで展示されたか、台帳に記録すべき
 - 市民も文化芸術に触れる機会をつくっており、そのような団体が望む支援することで文化力を上げるべき
 - 保管絵画のコンディションは専門業者で現況調査し良好であった
 - 小品についてはローテーションを検討したい
 - 所蔵絵画展を来年5月実施の方向で調整している
- 答弁**



Topic Tachikawa

食品ロス削減へ！ 食べきり協力店事業が開始



立川市は食品ロスを減らす取り組みとして、食べ残し削減に取り組む飲食店等を「立川市食べきり協力店」として登録する事業を開始しました。具体的には、右下の項目を1つ以上実践する店舗が協力店として登録することができます。※協力店は左のステッカーが目印です
日本では食品ロスが年間約632万トン(平成25年度推計)にものぼり、日本人全員が毎日お茶碗約1杯分の食べ物を捨てている量にあたります。公明党は一昨年12月に食品ロス削減推進プロジェクトチームを設置して、官房長官への提言申し入れや街頭演説キャラバンなど啓発活動を実施してきました。

立川市では公明党の山本みちよ議員が、平成28年第2回市議会定例会で、飲食店での食べ残しを減らすために「食べきりメニュー」の導入を提案しており、立川市役所食堂では昨年9月から先行して「食べきりメニュー」が導入されていました。

- ★小盛りメニュー等の導入
- ★持ち帰り希望者への対応
- ★食べ残しを減らすための呼びかけ
- ★食べ残しを減らすための特典の付与
- ★食べ残しを減らすためのポスターの掲示
- ★その他、食べ残しを減らす工夫や、調理の際に食材を過剰除去しないための取り組み

Topic Tachikawa ファーレ立川アート ガイドアプリが導入されました

ファーレ立川アートをわかりやすくガイドする無料アプリ「ファーレ立川アートナビ」が昨年秋から配信されました。瀬議員は平成27年第3回市議会定例会において、立川の魅力をもっと大きく内外に発信していくため、AR(拡張現実)技術などのICTを活用したファーレ立川アートのガイド導入を提案していました。

ファーレ立川アートは、「驚きと発見のまち」をコンセプトにしていることから、アート作品には説明や作者名の表記がなく、解説があるともっと楽しめると感じる人も少なくありませんでした。そこで、スマートフォンやタブレット端末の普及が進んでいることを考え、AR技術などICTを活用すれば作品についてより深く知ることができますのではないかと考え導入を提案しました。

今回配信が開始されたアプリをインストールすることで、スマートフォンやタブレット端末等に作品の



場所や説明を表示したり、アート散策をサポートしてくれます。作品の解説には文字、音声、写真、動画などが使われよりわかりやすくなっていますし、お勧めの鑑賞ルートや、108点のアートをコレクションしていく機能なども付いています。作品の解説や地図などは現地ではなくても閲覧することができますので、事前にアート作品のチェックをして出かけることもできます。是非このアプリをダウンロードして、ファーレ立川アートをお楽しみください！！

【ファーレ立川アートとは】

36カ国92人のアーティストによる109点の作品が、立川駅北口ファーレ地区のあちらこちらに点在するパブリックアート群です。これだけのパブリックアートが集中的に配された街は世界でも珍しく、日本都市計画学会設計計画賞受賞をはじめ、都市計画からも高い評価を受け、海外からも視察にこられるようなスポットとなっています。



▼無料アプリをダウンロード（QRコードからもダウンロードできます）

iPhoneはこちら



対象OS:iOS Version8.0以降



Androidはこちら



対象OS:Android Version4.3以降



ファーレナビ



FARET NAVI



避難準備情報の名称が変更！

昨年末、内閣府は災害時に自治体が発令する「避難準備情報」について、名称を「避難準備・高齢者等避難開始」に変更し、自治体に新名称を使うよう通知しました。

公明党の山口那津男代表は政府・与党連絡会議で「高齢者や施設入所者など避難に時間が掛かる方の避難開始を含むことを徹底して万全を期すべき」と要請していました。また、瀬議員は「避難準備情報」という名称では内容がわかりづらく、発令される際の状況や取るべき行動について、市民に周知するよう一般質問において求めていました。

避難情報の種類	
避難情報	取るべき行動
避難指示 ↓ 避難指示(緊急)	安全な場所に緊急に避難する
避難勧告	速やかに避難を開始する
避難準備情報 ↓ 避難準備・高齢者等避難開始	気象情報などに注意し、危感を感じたら早めに避難する 高齢者や体が不自由な人は避難を開始する

(注)印は名称・表記の変更

ホームページ・SNS・メールマガジンでも情報発信しています！

■ホームページ <http://www.komei.or.jp/km/tachikawa-se-nobuhiro/>

■Facebook <https://ja-jp.facebook.com/nobuhiro.se.3>

■Twitter https://twitter.com/se_nobu (ユーザー名:@se_nobu)

■メールマガジン ホームページのメールマガ登録欄、又は以下のメールアドレスに件名を「メールマガ希望」としてメールをお送り下さい → se_nobu@yahoo.co.jp



※紙面の都合上「ぎかいのはてな」はお休みさせていただきます。

♪♪♪ 皆様の声で実現しました ♪♪♪

横断歩道の新設！

富士見町6丁目の都営住宅にお住まいの方より、56号棟西端と北側の公園の間を通る道路に横断歩道を設置して欲しいとのご相談をいただきました。

施設管理している東京都住宅供給公社(JKK)や、交通管理者の警察へ何度も足を運んだ結果、横断歩道の設置が決定されました。しかし、実際に横断歩道を設置するには、電柱の移設や歩道の縁石交換なども必要となり、大掛かりな工事のため時間が掛りましたが、無事に設置されました。



速度規制標識の設置！

富士見町5丁目のJR中央線沿いの道は狭い生活道路ですが、抜け道として多くの車が通ります。沿道にお住いの方から、狭い道なのに車がスピードを出して走るので大変危険とのお声をいただきました。この道路の制限速度は20km/hとなっていますが、現場を確認したところ速度標識や路面表示がほとんどありませんでした。そこで、立川警察署の交通課に現場確認の状況も伝え、安全対策について要望をしたところ、すぐに速度標識が設置されました。



歩道のモルタル片を撤去！

立川市富士見町1丁目の都道にモルタルの小さな塊があるので取り除いて欲しい、とのお話をいただきました。現場を見に行ってみると、直径約10cm、高さ約5cmの大きさで、歩道の中央付近にありました。

あまり目立たないですが、つまづいたり転んだりする恐れがありましたので、すぐに東京都へ状況を説明して撤去してもらうよう依頼し、無事に取り除いていただき、安心して通れるようになりました。



街灯の明るさアップ！

富士見町2丁目の路地沿いの方から、道の奥の方が暗くて不安なので明るくして欲しいとのご相談をいただきました。そこは突き当りになっている市道で、中央付近に1本市の街灯が設置されていましたが、奥は暗く防犯上不安を感じる場所でした。

市の現場確認の結果、奥側には新たに設置することができないため、既に付いている街灯を大きな明るいタイプに交換していただきました。



皆様のご意見・ご要望をお聞かせ下さい

立川市議会議員 瀬 順弘(せ のぶひろ)



●公明党立川総支部文化芸術推進部長

●立川市議会文教委員会所属

〒190-0013 立川市富士見町7-32-44 レガリア120

TEL&FAX 042(524)4944 携帯 090(6546)2671

E-mail se_nobu@yahoo.co.jp

URL <http://www.komei.or.jp/km/tachikawa-se-nobuhiro/>

♪公明新聞講読のご案内

政治・経済・文化・環境・生活など、読み応えのある情報が満載。是非ご購読ください。

■ 日刊 1ヶ月 1,887円(税込)

■ 申し込みは“瀬のぶひろ”まで

メールマガジン



ホームページ



Facebook



Twitter

